



U-40 Annual Report

Feb.2019

The Japanese Society for Cardiovascular Surgery Under Forty

本会初 年次報告書
2018 年度版 2019 年 2 月発刊

CONTENTS

page

1	U-40 担当理事ご挨拶
	U-40 代表挨拶
2-6	プロジェクト紹介
7-24	各支部紹介
7-8	北海道支部
9-10	東北支部
11-12	関東甲信越支部
13-15	東京支部
16-17	中部支部
18-19	近畿支部
20-21	中四国支部
22-24	九州沖縄支部
25	編集後記





U-40 代表 田中千陽先生

代表に就任して 1 年がたちました。
2018 年度は前年度を踏襲し、各支部で Basic Lecture Course の開催、心臓血管外科学会誌面でのコラムの連載をいたしました。これらの活動を継続することにより、近年の Off JT への注目や若手の情報共有へ一役を担っていると自負しております。また Off the Job Training テキストが発刊されたことはとてもうれしく思っております。2018 年度より公式では初となる Advanced Lecture Course を開催しました。ま

た秋の CHSS では先天性心疾患プロジェクトをスタートしました。さらに働き方改革に関連し、若手からの提案を挙げるべくワーキンググループを立ち上げました。これらの活動は若手がやりたいこと、やらなければいけないことであると考えています。
U-40 が立ち上がり 2019 年 2 月で 6 年目に突入しますが、いままで多くの卒業生や共に働いている幹事がいます。
今回 Annual Report を立案するにあたり、将来の後輩に活動を申し伝えと同

時に、今がんばって活動している記録を残したいという思いがあります。
最後になりますが U-40 は会員のみなさまの参加やご意見で成り立っており、とても感謝しております。また、私たちが親のように温かく見守っていただいている U-40 担当理事の福田先生、理事長の横山先生を始め多くの先生方に、この場を借りて心よりお礼を申し上げます。

U-40 担当理事 ご挨拶 福田幾夫先生



本年度から U-40 運営委員会委員長を仰せつかりました弘前大学の福田幾夫です。昨年度までは東北支部長として U-40 東北 BLC のお手伝いをさせていただきましたが、本年度からは全体の調整にも関わっております。U-40 は患者さん、医療スタッフ、心臓血管外科医の 3 つの笑顔を実現し、心臓血管外科学会の将来を担う若手心臓血管外科医の知識と技術の進歩をサポートするために、上田裕一前理事長の御発案で結成されたものです。U-40 では様々な活動を行なっております。各支部の Basic Lecture Course

は本学会の地方会としての位置付けになっていきます。その他にも若手心臓血管外科医を対象にした学術総会での特別企画、若手を対象にしたアンケート調査など、U-40 の幹事の皆さんが忙しい臨床の合間を使って、実施してくれています。私たちの若い頃はこのような若手の交流がほとんどありませんでしたが、U-40 によって若手の意見を生かしてゆく機会ができたのはとてもうらやましい事です。すでに 5 年が経過した U-40 の活動が軌道に乗って発展してゆくためには、次の世代に情報を伝達してゆくこと

も重要なことだと考えています。また、BLC の実施も U-40 のメンバーに負担にならないように支援するシステムを作ることが重要であり、現在理事会で検討中です。皆さんの意見を聞きながら U-40 の発展のために努力したいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

弘前大学大学院医学研究科
胸部心臓血管外科学
福田幾夫

Projects produced by U-40



U-40 副代表 兼

Column リーダー

日本赤十字社医療センター

岡村賢一先生

情報共有しないチームは破綻する

みんな何やってるんだろ…



心臓血管外科学会雑誌 U-40 コラム

そもそもコラムとは、日本心臓血管外科学会雑誌に「U-40 Surgical Skill Sharing - 今更聞けない心臓血管外科基本手技」と題して2017年7月より掲載開始し、好評につき現在も継続させて頂いている企画です。各支部の先生方には、アンケート入力や原稿執筆にご協力頂き、感謝申し上げます。

本企画の当初の趣旨は、「手術書に掲載されていない基本的な手技(開閉胸・カニキュレーション・ドレーン管理など)は、通常自施設の上司から教わった通りに行われていて、一子相伝的な手技になりがちだけど、はたしてそれが全国では majority なのか minority なのか? どのような根拠で採用しているのか? など疑問に尽きないので U40 のネットワークを使って解決していこう。」ということにありました。現在も基本的な内容に変わりはありませんが、中には総会特別企画で発表された内容の掲載や他のプロジェクトの紹介なども含んでおり、40歳以下の心臓血管外科医にと

って有益な情報はどんどん発信していこう、という企画に変わりつつあります。今後もニーズに合わせて柔軟に対応していきたいと考えております。

何れにせよ一般企業の世界では「情報共有しないチームは破綻する」ことは常識ですので、一子相伝・門外不出は終わらせて、本企画がひいては手術手技向上に繋がっていかばと願っています。



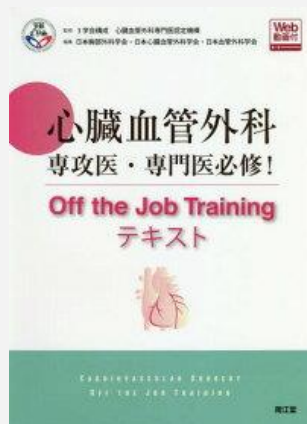
Trouble Case Scenarios



Trouble Case Scenarios

リーダー

桑内慎太郎先生

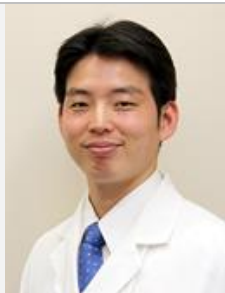


平成28年2月(第46回心臓血管外科学会学術総会)に、U-40 Trouble Case Scenarios 出版プロジェクトを立ち上げました。本プロジェクトはU-40会員が日々の手術・術後管理の中で遭遇した(些細なものから大きなものまで)トラブルとその対処の経験をまとめ、共有しようというもので、平成30年2月(第48回心臓血管外科学会学術総会)に電子書籍として出版することを当初の目標にスタートしました。

約1年をかけ各支部 Basic Lecture Course で参加者へアンケートを行い、「成人」「小児」「血管」の各分野の症例を全国から収集しました。しかし、どの形態の電子書籍で出版するか、イラストの統一はどう行うか、あるいはかかる経費をどうするか、などの問題が次から次へと浮上しました。大きな壁にぶつかり、途方に暮れていた頃、3学会構成 心臓血管外科専門医認定機構監修のもと『Off the Job Training テキスト』の出版計画が耳に入ってきました。「われわれ本作りの素人ばかりでプロジェクトを進めるよりも、プロの出版社・編集者を介することでよりクオリティーの高い書籍になり、またイラストや経費などの

問題も一挙に解決できる」ということで、電子書籍出版は中止にして、OFF-JTの書籍へ分担執筆という形で組み込んでいただくことにしました。

平成30年10月に南江堂「心臓血管外科専攻医・専門医必修! Off the Job Training テキスト(Web 動画付)」として発行されました。「血管」領域は日本血管外科学会ワーキンググループが担当されましたので、われわれU-40からは13名の執筆者による「共通」「成人」「小児」の3領域計15症例を分担執筆させていただいています。紆余曲折を経た3年に渉る本プロジェクトは何とか完結を迎えることができました。理事の先生方、U-40会員の先生方をはじめ、ご指導・ご協力下さった全ての皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



ALC プロジェクトリーダー

聖路加国際病院
心臓血管外科
吉野 邦彦先生

Advanced Lecture Course

今年度、第2回となる Advanced Lecture Course(ALC)が2018年8月19日、テルモメディカルプラネックスに開催された。北海道支部から九州沖縄支部まで、8支部より選出された計8名の若手心臓血管外科医にご参集頂いた。また、サマースクール2日目のプログラム終了後に開催したこともあり、講師・審査員には著名な先生方にお越し頂くことができた。内容については、昨年度の開催方式を踏襲し、豚心臓拍動モデルに血液を流して、LADのoff-pump吻合を行った。1名ずつ吻合を行い、評価表を用いて6名の審査員の合計点により順位を決定した。厳正なる採点の結果、終始安定した運針をされていた九州沖縄支部の芝田匡史先生が優勝に選ばれた。今回より、優勝者には副賞が送られることが決定した。

ALCはまだ始まったばかりであり、多くの改善の余地があると考えられる。現時点では冠動脈吻合に焦点を当てているが、多分野に拡大していく余地があると考えられる。またコンテスト形式のみに捉われず、各支部から選出された若手心臓血管外科医にとってより実りあるウェットラボとなるよう、工夫が必要と思われる。これについてはU-40幹事の間でも多くの意見が出ている。今後 Basic Lecture Course 定型化に伴い、ALCの需要はさらに高まるものとする。若手心臓外科医の要望を反映する形で進化させて行ければと考えている。



基本技術定量化プロジェクト

リーダー
山田敏之先生

基本技術定量化プロジェクト

元々「基本技術定量化」のプロジェクトは安水大介先生(大阪市立大学、現AMED)が担当され、金魚すくいの「ポイ」を用いたニードルワークを企画されました。大変ユニークなアイデアで、脆弱な組織で運針するという「過負荷」の状態でのトレーニング法として考案されました。実際に Basic Lecture Course でも使用され、手技を点数化してそのデータを解析され、手術トレーニングに関するアンケート調査を加えてその成果を学会にて発表されました。

私はこれまで慶應義塾大学大学院にて心臓手術シミュレーターや手術技量評価システムの開発を行ってきましたが、その縁もありまして本テーマを引き継ぐこととなりました。技術の定量化や評価は「そもそもその定量化や評価の方法そのものに科学的根拠や妥当性があるのか？」が大変重要であり、これがかかなり難しいということを実感しつつもやりがいのあるポイントであると考えております。

今後のU-40での目標としましては、手術トレーニングツールとして認知された「ポイ」でのトレーニング法をアップデートすべく、これまでは一時点での技量の定点観測であったものを、次は一定期間の手術トレーニングによる効果を長期的なスパンで評価する方法を検討することや、「ポイ」自

体のアップデート(携帯のアプリ開発?)に取り組むこと等、我々若手心臓外科医が効果的・効率的に、しかも楽しく手術トレーニングを行うために何が必要かを、自分たち自身で考えていけるような活動を提案していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



Projects produced by U-40



U-40 代表 兼
働き方改革 WG リーダー
田中千陽先生

働き方改革 Working Group

働き方改革関連法が 2019 年 4 月に施行されます。働き方の見直しとは遠い存在であった心臓血管外科の世界にも、少しずつ影響が出ています。同法案では時間外労働が原則月 45 時間・年 360 時間、特例月 80 時間(年 6 回まで)・年 720 時間を上限規制とすることとなっていますが、医師に関しては改正法施行 5 年後の施行を目標としています。もちろん過重労働によって疲弊している若手外科医もいると思いますが、労働時間が単純に規制されると多くの施設で仕事が回らない状況になることは容易に想像できます。ではどのようにしていけば法規制も遵守でき、患者さんの安全・安心も保てるのか、検討しなくてはなりません。キーワードはタスクシフティング、女性医師のサポート、施設集約化だと考えます。中でも検討が重ねられているタスクシフティングですが、具体的には特定行為に係る看護師の研修制度の普及、Nurse Practitioner の養成、医療クラークの仕事内容拡充な

どがあります。将来の心臓血管外科を考えたときに、どのような形が一番安全に患者を治療でき、また外科医だけでなく医療従事者全体の過重負荷の軽減が両立できるのか、難しい問題です。また女性医師数は日本心臓血管外科学会でも徐々に増加していますが、女性は出産、育児に際して、外科医の継続が一時的にも難しくなります。女性の労働力が維持できれば外科医不足と働き方改革の波を乗り切れると思いますが、どのようなサポートが望ましいか考えなくてはなりません。

現在、日本の労働環境は過渡期に入っており、私たちが勉強して意見を発信することが将来の職場を作ります。これからワーキンググループを通じ、アンケート調査を行っていきますので、ご協力をお願いします。また活動への参加の意思がある方もお待ちしております。

Advanced Lecture Course(第 1 回)

講師陣、受講者と U-40 のメンバー @TERUMO Medical Pranex





先天性プロジェクト

リーダー

平野暁教先生

U-40 先天性プロジェクトのプロジェクトリーダーをしています東京支部副代表幹事の都立小児総合医療センター 平野暁教です。

2018 年度から開設された先天性プロジェクトを九州沖縄支部の原田雄章先生、

関東支部の岡村賢一先生とともに担当しています。

U-40 先天性プロジェクトでは、小児心臓血管外科に必要なスキル向上のための Off the Job Training や、昨今多数の学会でも話題になっている小児心臓血管外科医育成について、若手の意見の集約と現場のニーズに合わせた小児プログラムを考えていくことを目的として活動しています。



先天性プロジェクト

【U-40 先天性プロジェクトの Mission】

- ・各支部 BLC での小児心臓外科領域のトレーニングの充実
- ・小児心臓血管外科医育成にむけた Off the Job Training の計画と充実
- ・U-40 小児心臓血管外科のための情報共有と情報交換

日本小児心臓外科医会 CHSS Japan 総会

2018 年 10 月の日本胸部外科学会総会期間内で開催された CHSS Japan 総会のシンポジウムが次世代小児心臓外科医育成をテーマに執り行われました。

2017-8 年に関小児循環器学会が主体となって小児心臓外科医についてのアンケートが行われました。その結果に合わせた形で、U-40 でも小児心臓外科医育成に関するアンケートを作成し、全国で 223 名の先生からご回答いただきました。

詳細な結果は日本心臓血管外科学会雑誌内 U-40 コラムでご報告予定です(2018 年 11 月現在)。

シンポジウム内では、シンポジストとして壇上に登る機会をいただき、発表・討論に参加させていただきました。

アンケート結果を踏まえ、U-40 的小児心臓外科医育成プログラムを作成してみました。実際の手術経験が少なくても安心して手術に臨むためには、を主眼にどのような Off the Job Training が有用か、また chief surgeon として独り立ちするにはどんなサポートがあれば若手は嬉しいか、を発表させていただきました。討論では、日本の小児心臓手術数(8500 例/年)の少なさと、今後施設集約が行われるとしたらどのようなようになるかが議論され、若手としてより一層団結する必要があることを再認識しました。このような機会をいただきました坂本喜三郎先生、鈴木孝明先生には深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

CHSS Japan
第5回総会 第4回学術集会

謹啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
 この度、下記の通り第5回総会、および「肺高血圧」「次世代育成」をテーマとし、第4回学術集会を開催させていただく運びとなりました。先生方には御多忙のところ誠に恐縮でございますが、万障お繰り合わせの上御参集頂ければ幸いです。謹白

日時：2018年10月5日(金) 19:10 ~ 20:50
 会場：グランドプリンスホテル新高輪 国際館バミール 1F 「瑞光」
 〒108-0074 東京都港区高輪 3-13-1 電話 03-3442-1111

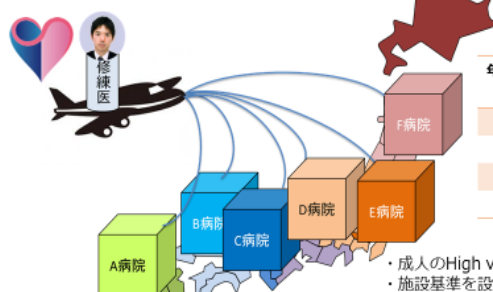
プログラム

◆19:10~19:20 第5回 総会	◆19:20~20:50 第4回 学術集会
製品情報提供「アイノフロー吸入用800ppm 使用成績調査 中間報告」 マリンクロット ファーマ株式会社	
●19:25 招待講演 座 長： 角 秀秋 先生 (福岡市立こども病院) 「右室から診た小児肺高血圧-ガイドラインは？」 演 者： 土井 庄三郎 先生 (東京医科大学大学院 小児周産期地域医療学 教授)	
●20:00 次世代育成 シンポジウム 司 会： 坂本 喜三郎 先生 (静岡県立こども病院) 鈴木 孝明 先生 (埼玉医科大学国際医療センター)	
基調講演 「次世代小児心臓外科医育成のためのアンケート調査結果」 演 者： 芳村 直樹 先生 (富山大学附属病院)	
シンポジスト： 梶沢 政司 先生 (千葉県循環器病センター) 平野 暁教 先生 (東京都立小児総合医療センター) 岡村 賢一 先生 (日本赤十字社医療センター)	

CHSS Japan 総会での資料 1

U40的 こうすれば小児心臓外科医 出来そうかも！

④ High Volume Center巡りの旅



年間の施設 手術数	トレーニングの 平均満足度	300~の施設との T検定 p値
1~50	1.67	<0.001
1~100	2.76	0.095
1~150	3.18	0.404
300~	3.57	

(U40アンケートのデータより)

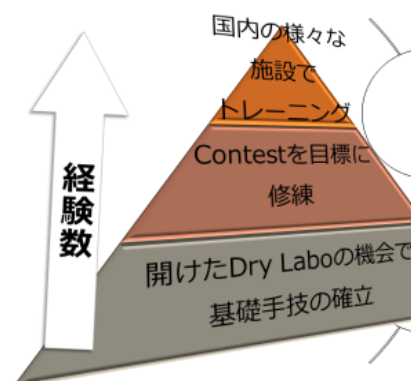
- ・成人のHigh volume center含む
- ・施設基準を設けて客観的に施設を選定

2年間で複数のHigh volume centerを数ヶ月ずつローテーション
その間、学会からの修練医として手術に専念できる



CHSS Japan 総会での資料 2

U40的 小児心臓外科医 出来そう！



モチベーションを
持続させる仕組み

- ・辞める人をなくす
- ・医局を超えた同世代の横のつながり
- ・やりたい人をさらに伸ばす

アンケートの限界

- ・答える気がある人からの回答のみ
- ・メンタルサポートの必要性やメンタル面でのツラかったことの意見は殆どなし

全 U-40 会員を対象とした小児心臓外科医 メーリングリストの開設

上記シンポジウムをうけ、若手の情報共有・情報交換の重要性を改めて実感しましたので、U-40 先天性プロジェクトとして、メーリングリストを開設しました。メーリングリストで行うことは、U-40 各支部の BLC での先天性に関する内容の共有や、CHSS Japan 主催の手術手技セミナー、他施設の先生でも参加可能な各大学の医局レベルで開催されている Off the Job Training といった、全国で行われている小児に関する修練機会の情報共有です。全 U-40 会員を対象として、全国の若手小児心臓外科医を取り込むべく案内活動をしています。ご興味のある先生は、以下のメ

ールアドレスまでご連絡いただけると幸いです。

QRコードからもメールを作成することができます。よろしくお願いいたします。

jscvsu40_chss_japan@umin.ac.jp



小児心臓外科領域は症例数も少なく手術執刀機会も少ないです。それぞれの施設でそれぞれ孤独に頑張っている小児心臓外科医たちが、技術や知識や経験を共有することはとても意味あることだと考えています。

全国の若手小児心臓血管外科医のみなさん、一緒に頑張っていきましょう！



支部紹介 北海道支部

7

北海道には各々の強みを持つ北海道大学、札幌医科大学、旭川医科大学の3大学が存在しており、北海道の地域医療も含めて幅広い範囲をカバーしています。北海道大学は道内唯一の心移植認定施設として植え込み型補助人工心臓の症例を多く経験し、札幌医科大学では大血管手術に強く、広範囲の大動脈瘤手術などは様々な選択肢を駆使してベストな医療を提供、旭川医科大学は最北の大学病院として幅広い医療圏をカバーし、緊急症例も断ることなく症例数も伸び盛りの大学病院です。このように各大学の特徴を理解しながら、若手がお互いに切磋琢磨できる環境と思います。冬は雪も多く、臨時手術で呼ばれたとしても車がはまって動けませんみたいな事もありますが、めげずに日々目の前の患者を助けるためにベストを尽くす若手で賑わっているのが特徴です。

北海道支部長
東信良先生
2018 年 U-40 北海道の活動を
振り返って



代表幹事

砂川私立病院
心臓血管外科
橋口仁喜先生



支部長を松居喜郎教授から引き継いで2年半が経ちました。

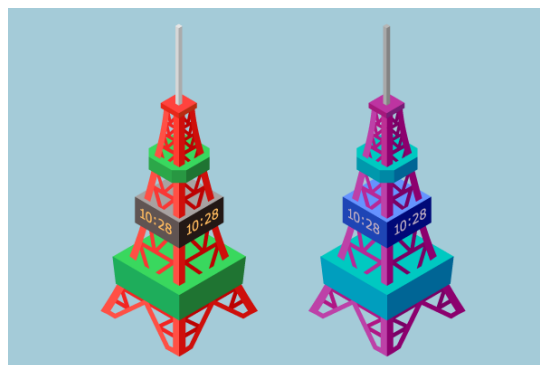
この間、これまで北海道地区の活動を引っ張ってきた橋君が幹事代表を去り、幹事たちが世代交代しましたが、うまくバトンが渡ったようで、2018 年の第4回 BLC も橋口幹事代表のもとで成功裡に終わりました。

毎回、北海道内外から多くの参加希望者が集い、教室を超えて同世代と知り合い、大学を超えて講師陣と知り合う非常に貴重な機会を謳歌しているように見受けられます。また、それを支えている多くの over 40 や企業の方々の頑張りには頭が下がります。多くのベテラン心臓血管外科医たちが若手医師の前に立って、長時間にわたり熱心に指導くださる姿、それを毎年継続いただいている姿勢をみて、外科医の素晴らしさを感じさせていただいております。きっと、指導を受けている若手がやがて同じように指導をする側に回っていることでしょう。

今年は Off JT が心臓血管外科専門医取得に必修化され、機構監修の Off the Job Training テキストも発刊され、Off JT の波が来ています。若人がこの波をうまく利用して、アイデアを出し合い、U40 活動を盛り上げていくことを楽しみにしております。

平成 30 年より U-40 北海道支部代表を務めさせて頂くこととなりました 砂川市立病院 心臓血管外科の橋口仁喜（はしぐち ひとき）と申します。

北海道は広い大地に北海道大学、札幌医科大学、旭川医科大学の3大学の関連病院がそれぞれ点在しており、各大学の関連病院同志は非常に離れているといった特徴があります。この U-40 での活動を通して、大学の垣根を超えた施設間の交流を密にし、大学関連ではない近隣の施設同士でも互いに交流しやすい環境を作っていくことで、各施設の外科医の技術向上を図り、患者さんにもより一層質の高い医療を提供できるようにしたいと考えております。よろしくお願いいたします。



副代表幹事
北海道大学
循環器・呼吸器外科
関達也先生



私の仕事における理念というかキャッチフレーズは「家庭のストレスを仕事で発散する」です。心臓血管外科の仕事は長時間手術、長時間労働、なかなか手術が当たらないなどと医師の中でいわゆる「負け組」の範疇にはいる要素がたくさんありますが、その中で続けているのはやはり仕事が大好きだからということに他なりません。そのように頑張っているナイスな同僚たちの交流の場、成長の場である U40 に少しでも寄与できればと思っています。

北海道支部 つづき

札幌医科大学

心臓血管外科

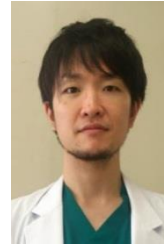
沼口亮介先生



北海道大学

循環器・呼吸器外科

杉本聡先生



医師 6 年目の沼口亮介です。U40 も 2 年目となりました。

今年度は積極的に議論に参加して役に立てるように頑張ろうと思います。よろしくお願いします。

医師として「決して心臓外科に固執することなく心身共に健康が第一」をモットーとしながらも、患者と上司と妻の顔を窺い、朝から晩まで(ときに朝から朝まで)心臓外科医をやっているのはやっぱり心臓外科が楽しいからに違いなし。さとし。

苫小牧王子総合病院

心臓血管外科

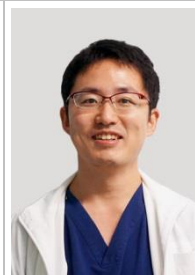
村瀬亮太先生



旭川医科大学

外科 (心臓大血管)

中西仙太郎先生



これを機にたくさんの先生方と交流が持てたらよいと思っています。よろしくお願いします。

北海道 U40 広報を担当しております旭川医科大学の中西仙太郎と申します。北海道、特に旭川は広域な医療圏をカバーしている状況であり、各病院との連携の重要性を日々実感しております。北海道の3大学における若手の架け橋となり、北海道の心臓血管外科の底上げに寄与して盛り上げていければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

旭川医科大学

外科 (心臓大血管)

伊勢隼人先生



U-40 北海道支部幹事を務めさせて頂いております伊勢隼人と申します。北海道ではここ数年、心臓血管外科医を目指す若手が以前より増えているように感じます。しかし、面積が広いので、学生・研修医が実際に心臓血管外科医と交流し、情報を得る機会は多くありません。U-40 の活動は交流の場として有意義であり、また、自分にとっても学ぶことが多い機会だと感じています。より有意義な活動となるよう努力していきたいと考えております。



東北支部

9

東北支部は東北6県（青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島）で構成される支部です。U-40 会員は 70 名程度の比較的小さな支部になります。これまで 4 回の BLC を開催してきましたが、小さい支部だけに毎回のように出席してくれる先生方が多くアットホームな雰囲気の支部となっております。東北支部ではこの横のつながりを大事に 3 つの笑顔に向かって突き進んでいきたいと思っています。

東北支部長
弘前大学大学院医学研究科
胸部心臓血管外科学
福田幾夫先生



代表幹事

山形大学
医学部附属病院
黒田吉則 先生



巻頭のご挨拶をご参照ください。



2018 年度より東北支部代表を務めさせていただいている黒田吉則と申します。

U-40 発足時から幹事を務めさせていただいております。東北支部は U-40 会員が少ないですが、U-40 活動の中心である BLC を充実させ、少ない会員数だからこそ横のつながりが強い東北支部を目指して参りたいと思います。若手心臓外科医の発展に向けて会員の先生方のお力になれたと思っております。

U-40 の目指す『3 つの笑顔』を一緒に作り上げていきましょう。どうぞよろしくお願い致します。

副代表幹事

秋田大学医学部附属病院

高木大地先生



東北支部幹事の高木大地です。東北支部幹事となり 3 回目の Basic Lecture Course を終えました。BLC は若手心臓血管外科医が職場による環境や修練状況の違いを知り、失敗談や経験を共有できる貴重な場の提供だけでなく、知識面・技術面において成長する貴重な機会になる場と考えています。去年よりもより良いものを作り、東北心臓血管外科が盛り上がるよう、幹事として微力ながら頑張ろうと思っております。よろしくお願い申し上げます。



東北支部 つづき

山形大学

医学部附属病院

石澤愛先生



東北支部幹事の山形大学心臓血管外科 石澤愛です。U40 は医局や施設を越えた若手心臓血管外科医の先生方と繋がれる貴重な機会ですので、支部での活動を通じて学べる事、得られる事、同世代の先生方との交流を大切にしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

福島県立医科大学

石田圭一先生



福島県立医科大学の石田圭一と申します。医局の垣根を越えて、同世代の先生方と交流活動が出来ることを大変楽しみにしております。U-40 が東北、そして全国の若手心臓血管外科医の更なる発展、活躍のきっかけとなるよう、自身の研鑽も踏まえ精力的に活動して参りたいと存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

弘前大学医学部

小渡亮介先生



専門は空手で、東医体で6年間優勝したり全国国公立で優勝したりしていました。最近のサブスペシャリティは劇団四季です。観劇のために一生懸命学会演題を出しています。先天性心疾患もやっています。ヒーロー不在でも成り立つチーム構築を目指しています。押忍。



須賀川病院

高野 隆志先生



東北支部幹事をさせていただき光栄です。

U-40 の活動を通して、それまで知り合えなかった同世代の心臓血管外科医の先生方と仕事ができ非常に貴重な時間をいただいていると実感しております。若い世代の先生方に今後の活躍のためのきっかけやヒントなどをBLCなどのイベントの中から得ていただけるように、そして我々の世代のこれからのためにも刺激となるものとして発展させることができるよう引き続き精進して参ります。

岩手医科大学

心臓血管外科

田林東先生



岩手医科大学 心臓血管外科 田林 東です。2018年よりU40 東北支部の幹事を務めさせていただく事となりました。若手の心臓血管外科を盛り上げていけるように微力ではありますが、努力させていただきたいと思っています。よろしくお願いします



東北大学

松村宣寿先生



2018年からU-40 東北支部幹事になりました松村宣寿と申します。まだまだ経験が浅く不安もありますが、微力ながら東北地方そして日本の心臓血管外科医の交流を深める橋渡し役となり、心臓血管外科の発展のために尽力できればと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



関東甲信越支部は東京を除いた首都圏から北関東・長野・新潟までを含む比較的広範囲の支部です。代表・副代表・幹事を中心とし、とても和気藹々とした雰囲気の特徴です。知識・技術はもちろんのこと、BLC 後の懇親会は BBQ を行い、参加者同士の横の繋がりをとても大切にしています。

関東甲信越支部長
埼玉医科大学
国際医療センター
鈴木孝明先生



代表幹事

日赤医療センター
岡村賢一 先生



本年度より U40 関東支部長を拝命しました埼玉医科大学国際医療センターの鈴木です。

専門は小児心臓外科ですが心臓病センター長として病院の循環器部門全体の取りまとめもさせて頂いております。

まだ U40 の活動に関わるようになって日が浅いのですが、みなさんの熱意と組織作りの巧みさ、活動力にとっても敬服しております。これならわたくし達の世代が引退した後も日本の心臓血管外科は大丈夫だと心強く思っておりますが、皆さんに伝えられることは全て伝え、そのために出来ることは全力でお手伝いして行きたいと考えております。

まだ私も不慣れなところがありますが U40 関東支部の皆さんとはお互いに切磋琢磨しつつ関東支部はもちろんのこと、U40 全体を発展させて行きましょう。今後とも宜しくお願いします。



私は、U40 関東支部で代表を務めさせて頂いております日本赤十字社医療センターの岡村賢一と申します。

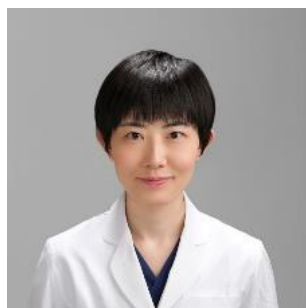
関東支部は、東京を除く関東甲信越9県(神奈川・千葉・埼玉・群馬・栃木・茨城・山梨・長野・新潟)を対象として活動を行なっております。主な活動は年1回の Basic Lecture Course (以下、BLC) で、過去4回は東京大学(2回)・佐久医療センター・横浜市立大学で開催させて頂きました。

発足当初の BLC は手探り感が満載でしたが、近年は私たち運営側の習熟もあり充実した内容をお届けできるようになってきたと自負しております。これもひとえに U40 関東支部幹事の先生方・協力企業の皆さん・会場関係者の皆さん、そして何より参加者される先生方の熱意によるものであり、感謝の念に堪えません。

さて、来年度の関東支部 BLC ですが、会場は本年度開催の横浜市立大学が大変好評でしたので、同会場での開催を検討しております。再来年度以降は、これまで開催できていない県で行えればと思っています。

今後ますます楽しく充実した企画が出来るよう支部幹事一同頑張りたいと思います。

副代表幹事
横浜市大附属市民
総合医療センター
根本寛子先生



2016 年に関東甲信越支部の幹事となり、今年から副代表を務めさせて頂いております。幹事になるまでは、U40 自体を知りませんでしたし、他施設の先生方との交流も殆どありませんでしたが、施設を越えた繋がりは拡がり、多くの先生方に出会い日々刺激を受けています。

U40 の一番のメインは BLC です。過去 3 回主催者側で携わりましたが、年々内容が洗練されながらも、充実してきているように感じます。幹事になった当初、そもそも BLC は、日常業務に追われ院外研修に出られない若手の先生でも平等にエキスパートから教える機会を得られるよう考案された、と聞きました。当時に比べれば U40 の認知度はかなり上がりましたし、新しいプロジェクトも続々と企画されていて、若手自らの手で作り上げ発信していくことは非常に大切です。しかしこの BLC の原点は心に留め、微力ではありますが今後もお手伝いさせて頂ければ幸いです。

関東甲信越支部 つづき

佐久医療センター

濱 元拓先生



横浜市立大学

澁谷泰介先生



佐久総合病院 佐久医療センターの濱元拓と申します。この度関東支部の幹事を務めさせていただくことになりました。Advanced Lecture Course を担当させていただきます。U-40 会員が良質なトレーニングを受けられるよう力を尽くしたいと思います。よろしくお願い致します。

U40 の活動を通じ、地域・医局を超えたかけがえのない人の繋がりを得ることができ、多くの仲間から勇気づけられ、わくわくさせていただいています。若手の心臓血管外科医が今後国内・海外で活躍していくためのお手伝いが少しでもできればと思います！

筑波大学

心臓血管外科

米山文弥先生



佐久医療センタ

ー

新津宏和先生



筑波大学心臓血管外科の米山文弥と申します。U-40 の活動を通して、世界で闘う心臓血管外科医を目指して、学術的にも技術的にも皆で切磋琢磨できたらと思います。



佐久総合病院 佐久医療センターの新津宏和と申します。若手にとって実際臨床に繋がる手術手技トレーニングなどに興味があります。活動を通して多くの先生方と交流を深め、より良いものを作り上げて行きたいと思います。よろしくお願い致します。

千葉県循環器病
センター

伊藤貴弘先生



総合病院国保

旭中央病院

田中駿先生



千葉県循環器病センターの伊藤貴弘と申します。先天性心疾患を専門にしていこうと予定しています。U-40 の活動を通じて全国の先生方と交流できる場を作りたいと思います。U-40 は医局を超えて同世代～幅広い層の全国の先生方と意見を交流できる数少ない場所であり、一緒に喜び・悩みを共有できれば幸いです。

総合病院国保旭中央病院心臓外科の田中駿と申します。卒後 5 年目です。一般外科研修を終え、今年度から心臓外科に進み、東京大学心臓外科に入局しました。まだまだ駆け出しの若輩者ですが、U-40 の活動に微力ながら貢献できればと考えております。宜しくお願い致します。

東京支部は修練施設が密集する地区を担当し、若手医師の横のつながりの活性化、情報交換・意見集約の一端を担えるように活動しています。2018年度のBLCではウレタンモデルを用いた先天性コースを併施し、大変好評でした。今後も質の高いOJTとなるよう取り組んでいきたいと思ひます。

東京大学大学院
医学系研究科
心臓外科
小野 稔先生



代表幹事

東京医科歯科大学
心臓血管外科
藤原立樹 先生



心臓血管外科は結構大変だけれども、非常にやりがいのある領域であることは皆さん日頃から感じられていることであると思ひます。皆さんの強いやりがいをどのようにして保ちながら日常の臨床を続けてもらえるであろうか？毎日のように自問し続けています。手術技術の上達はかなり個人差があります。

実は、皮肉なことに上達が早い人が合併症の少ない手術をできるとは限りません。冠動脈、弁膜症、大血管のすべてにおいて高い技術を有している外科医がいる一方で、特化した分野だけ傑出している外科医もいます。先天性心疾患はその良い例かもしれません。成人心疾患を目指すにあれ、先天性を目指すにあれ、必ず習得すべき基本的な技術と術式があります。一足飛びのトレーニングをして実のない満足を得ることがどれほどその後の技術習得のブレーキになるのかを是非とも知ってもらいたいと思ひます。U40 Basic Lecture Courseにおいては、あらゆる situation においても基盤となる基礎技術をしっかりと身に付けてもらえるように私たちは全力で指導に当たっていきます。

皆さん1人1人が次代を担う立派な心臓血管外科医に是非ともなってもらいたいと思ひます。

U-40 東京支部代表幹事を務めさせて頂いております東京医科歯科大学心臓血管外科の藤原立樹と申します。

私がU-40幹事をやってみようと思ったのは、国立循環器病研究センターのレジデントだった時に、同年代の様々な大学の人間が集まって切磋琢磨した日々を経験して、同年代の横のつながりは大事だと思えるようになったためです。

東京支部は総合病院や大学病院の過密地域を担当しています。幹事同士で簡単に顔合わせが出来るのが最大の利点です。

当支部内にはU-40のプロジェクトリーダーを務める様な活動に意欲的な若い幹事が多いです。支部代表幹事として、今後も他支部を刺激できるような積極的な活動を展開していきたいと思ひています。

副代表幹事
東京都立小児
総合医療センター
心臓血管外科
平野暁教先生



U40 東京支部 副代表幹事をしています東京都立小児総合医療センター 心臓血管外科の平野暁教です。慶應義塾大学心臓血管外科医局所属で、現在小児心臓外科として修練中です。U-40の東京支部には2017年度途中から参入させて頂き、2018年度から留学された東京医大 藤吉俊毅先生の後任として副代表幹事の任をいただきました。

狭い心臓外科の世界で、横のつながりはとても大切だと感じておりますので、今後も日本心臓血管外科学会 U40 活動に貢献できるよう頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願い致します

東京支部 つづき 1

済生会川口総合病院
血管外科

向後寛子先生



東京慈恵会医科大学
心臓外科

木南寛造先生



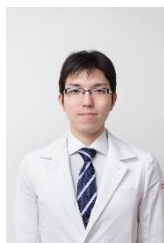
済生会川口総合病院 血管外科の向後(旧姓 八百板)寛子と申します。日本大学心臓血管外科に入局したのち、結婚出産、産休育休を経て現在に至ります。女性医師は修練期間と結婚、出産などのライフイベントの時期が重なっており、職場環境や周囲の理解など様々な葛藤に悩みが尽きません。女性会員特有の意見集約やキャリアパス形成のお手伝いに努めて参りたいと思います。微力ながら、どうぞよろしくお願いいたします。

東京慈恵会医科大学 心臓外科 木南寛造と申します。この1年東京支部幹事を勤めさせて頂き、心臓血管外科の魅力を再認識できたように思います。日本人若手心臓血管外科医たちが世界に羽ばたきやすいシステムなど構築できないか模索中です。今はまだ微力ながら U-40 活動を盛り上げて行きたいと思います。よろしくお願いいたします。

慶應義塾大学

外科

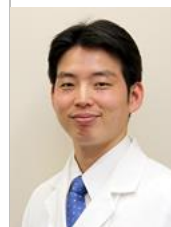
林啓太先生



聖路加国際病院

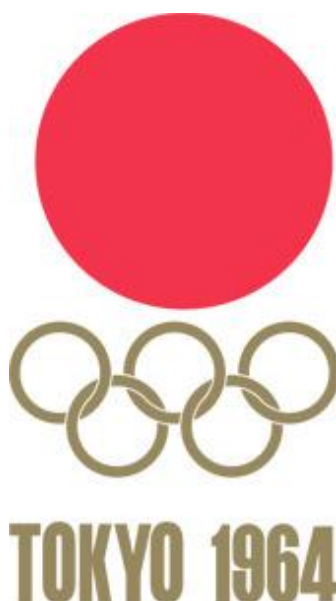
心臓血管外科

吉野 邦彦先生



慶應義塾大学外科の林啓太と申します。血管外科医として末梢血管を専門としております。OJT や新専門医制度などの新しい制度に対して、若手がみな柔軟に対応できるよう、U-40 を通じてお手伝いさせていただきたいと考えております。末梢血管外科領域からも積極的に情報発信して参ります。

2018 年度より東京支部幹事をさせて頂いております。卒後 7 年目で、現在心臓外科全般および血管外科全般を修練中です。U-40 の活動を通じて、外科医として必要とされる技術、知識、人間性を学び、共有していくことを目標としております。U-40 幹事としてもまだまだ未熟ですが、活動を楽しみつつ、支部に貢献できればと思います。



東京医科大学
心臓血管外科
丸野 恵大先生



日本医科大学
心臓血管外科
高橋賢一朗先生



この度新たに東京支部の幹事をさせていただきます東京医科大学の丸野です。

元々人前に立つのは得意ではありませんが、今回このような機会を頂きましたことを光栄に思っております。

なるべく幹事としての立場からだけではなく、いち心臓血管外科医として、横の繋がりや先達との意見交換の手助けができればと考えております。

初めまして、日本医科大学の高橋賢一朗と申します。我々は下っ端から中堅に移行する時期で、理想像に近づけるよう努力していても、臨床で時に自分の無力さを痛感したり、学会発表や論文執筆で思うように成果が出せず焦るような年代で、同時に周りのライバル達が気になる頃です。みんなで情報を共有し、企画に参加し、お互い刺激し合い、一緒に頑張っていくための環境作りに貢献できたら幸いです。よろしくお願いします。

名古屋市立大学心臓血管外科
国立病院機構東京医療センター心臓血管外科
慶應義塾大学大学院外科学（心臓血管）



山田敏之先生

2018 年より東京支部幹事を務めさせていただいております。また、私自身以前より手術のトレーニングに関する研究を続けてきたご縁から、U-40 全体のコアメンバーとして「手術の基本技術定量化」プロジェクトリーダーも兼任させていただいております。「若手である」という特徴を最大限活かし、これからの心臓血管外科のあるべき形を皆さんと共に考えていけたらと思っております。



TOKYO 2020
APPLICANT CITY

中部支部

中部支部は愛知・岐阜・三重・静岡・石川・福井・富山の7県で構成されています。支部幹事の専門も成人心臓・小児心臓・末梢血管と3領域が網羅されておりバランスが取れているのが特徴です。Basic lecture course も3回は名古屋・1回は金沢で開催しています。今後は今まで以上に支部内の交流を深まればと思っています。

中部支部長

名古屋大学大学院心臓外科
碓氷章彦先生



代表幹事

一宮市立市民病院
血管外科
小山明男 先生



名古屋大学大学院心臓外科の碓氷です。日本心臓血管外科学会中部支部長を拝命しています。

U40 は私の前任の上田裕一名古屋大学名誉教授が2012年に日本心臓血管外科学会理事長に就任した際に、若手医師の意見を学会運営に反映させるために構築した組織です。

6年が経過しU40の基盤は強化され、リーダーの引き継ぎも進んでいます。

U40はクラブ活動のように、U40を卒業した中堅医師が若手外科医の教育に当たり、学会員全体がレベルアップして行くことが好ましいと考えています。

中部支部は全面的にU40をバックアップ致します。若手医師は自己修練の場としてU40を活用して下さい。

中堅の皆様には、今後とも暖かいご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



一宮市立市民病院血管外科の小山明男です。5年前より中部支部幹事を務めさせていただき、2017年途中より中部支部代表幹事になっております。

中部支部は2015年よりBasic lecture course (BLC)を多数の先生方のご協力のもと開催しております。

2015年・2016年は名古屋で開催し、2017年は北陸地方のU40の先生方にもより参加していただけるように金沢にて開催いたしました。

2018年も支部長の碓氷章彦教授並びに多数の先生方のご協力のもと無事BLCを開催することができました。

この場をお借りしご協力いただいた先生方に御礼申し上げます。

今後はBLCを通しU40中部支部内での交流を深めていくだけでなく、すこしずつですがU40を卒業したOver40の先生が講師としてBLCで指導していただく流れも作っていただければと思っています。

指導医の先生方におかれましては、今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

副代表幹事
藤田医科大学病院

心臓血管外科

野田美香先生



中部地区 副支部を務めております藤田医科大学の野田美香です。

現在の専門は成人心臓血管外科ですが、一時小児心臓の施設で研修を受け、現在も成人・小児ともに勉強中です。

全国各支部で実施しているBLCは中部地区では春先に開催していることが多く、また交通の利便性から他支部からも多く参加しております。

中部地区では唯一の女性幹事であり、支部代表を中心に幹事一同協力しながら、また女性という特性を生かしつつ、中部地区の発展に努めていきたいと思っています。



愛知医科大学

血管外科

折本有貴先生



愛知医科大学血管外科 折本有貴です。普段は血管外科領域の診療に従事しています。U-40 中部支部幹事として3年経過しました。中部支部 BLC の企画、運営を微力ながらお手伝いさせていただくことが U-40 の活動の中心でしたが、ようやく慣れてきたというのが実感です。これからも同性代の会員の皆さまと交流を深めていけるのを楽しみにしています。

新宮医療センター

心臓血管外科

阪本瞬介先生



中部支部幹事の阪本瞬介です。

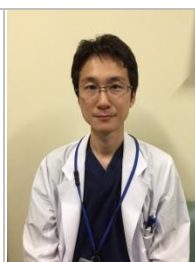
現在は和歌山県の新宮医療センターに勤務し、成人心臓外科の診療を行っています。

U40 としては残り少ない期間となりましたが、有意義な活動を行っていければと思います。

海南病院

心臓血管外科

末永啓人先生



U-40 は心臓血管外科学会が若手の意見を取り入れ、若手に活動の場を提供する取り組みであります。その中部支部の幹事として活躍できる機会を頂き、光栄に思っております。2019 年で医師として 11 年目ですが、一年でも早く一人前の心臓外科医となるべく、日々努力をしています。U-40 の活動がより良い医療のもととなり、最終的には患者さんに還元されることを信じて、尽力して参りたいと思います。

名古屋大学大学院

心臓外科

内田亘先生

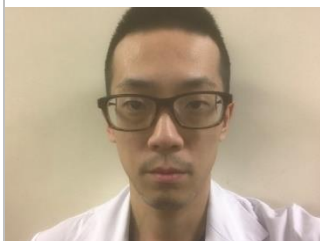


名古屋大学心臓外科の内田亘です。今年 40 歳を迎え U-40 の最終局面となってきました。ベテランの心臓外科医と若手の心臓外科医をつながられるような役割ができればと考えております。また手術だけでなくアカデミックな分野のアドバイスも若手の先生にできるように日々精進していきます。

金沢大学

先進総合外科

上田秀保先生



金沢大学先進総合外科所属の上田秀保と申します。2010 年より医師として働き始め、心臓血管外科医として日々勉強中の身です。自分自身の成長の実感に乏しく、日々悩みながら診療に従事しています。ただ、その悩みは自分だけでなく、他の若手心臓血管外科医にも共通する部分はあると思っており、他の誰かの心臓血管外科医の役に立てれば、自分が幹事を行う意味はあるのではないかと考えています。今後よろしくお願い致します。



近畿支部

2018 年度は幹事の半数が入れ替わる”継代”を経たて新体制となりました。

BLC 参加者は年々増加し賑わっていますが、幹事不在県からの参加者をいかに集めるかが今後の課題です。

U-40 発足当初から「節約（ケチではない）」を支部コンセプトに活動しています。限られた条件（資源）の下でどう工夫するかを考えることは手術にも通じます。また「節約」≒「Low cost」が活動の継続には必要です。

新年度も支部コンセプトを軸に、Low cost - High performance な活動で盛り上げていきます。

近畿支部長
京都府立医科大学
心臓血管外科学
夜久 均先生



代表幹事
関西医科大学
心臓血管外科
桑内慎太郎 先生



日本心臓血管外科学会近畿支部長として、この地区の U-40 の責任者を拝命しています。平素は U-40 の活動にご支援いただきありがとうございます。

近畿支部では U-40 支部代表の桑内先生（関西医大）、副代表の本宮先生（京都府立）を中心に他の U-40 の幹事と共に活動を行っています。活動の中心は年 1 回の地元施設での Basic Lecture Course の企画・運営ということになるかと思います。午前中に近畿支部の第一線で活躍されている心臓血管外科医、臨床工学士のレクチャーを行い、午後からハンズオンというプログラムで、2018 年は京都府立医大の臨床講義室で行われました。

支部会における活動には、本学会事務局からそれぞれの支部に年間 30 万円の予算がついていますが、なかなか運営の台所事情は厳しいようで、講演者も含めて皆さん手弁当で頑張っています。ただハンズオンではどうしても企業のご支援に頼らざるを得ず、本会の理事会では Off-the-Job Training 普及推進委員会を中心に今後の若手心臓血管外科医のトレーニングの在り方についての検討が始まっています。いずれにしても U-40 の活動に對しまして、今後ともご指導、ご鞭撻をどうぞよろしくお願いいたします。

近畿支部代表幹事の桑内慎太郎です。U-40 発足当初より支部幹事として活動し、今年度より支部代表を務めております。

例年開催している Basic Lecture Course や第 48 回日本心臓血管外科学会学術総会での特別企画、その他 U-40 のプロジェクトを通して、近畿のみならず全国の若手心臓外科医と交流を図れたことは、自分にとって大きな財産となっています。

”これまでの活動の発展的継続”と、”U-40 活動の後輩への継代”の 2 つを軸に活動を進め、多くの方々に U-40 活動の素晴らしさを実感していただけるよう努めて参ります。

ご指導・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



副代表幹事
京都府立医科大学
小児医療センター

小児心臓血管外科
本宮 久之先生



U-40 近畿支部の副代表幹事を務めております本宮 久之（ほんぐう ひさゆき）と申します。昨年度副代表になったばかりであります。代表幹事の桑内先生および近畿支部幹事の先生と共に近畿地区の U-40 の皆様にとってより良い活動ができればと思います。日々頑張っております。

近畿地区は非常に病院の数が多い地区であり、それだけ 40 歳以下の心臓血管外科医の数も多いと考えています。

近年、医師の働き方、いわゆるライフワークバランスに焦点が当てられることが多くなってきました。会員の多い近畿地区であるからこそ、我々から発信できるメッセージもきっとあるのではないかと考えています。

また、私は先天性を専門にしており、全国で先天性を志す U-40 のみなさまともぜひ横のつながりを作り、より良い off the job training の機会の提供などについても粉骨砕身したいと考えております。ほんの少しの閃きで心臓血管外科医の未来は大きく変わると思います、忌憚ないご意見やアイデアなど、遠慮なくご連絡頂ければ幸いです。

大阪大学

心臓血管外科

渡辺健一先生



兵庫県立尼崎総合
医療センター

植野剛先生



初期のメンバーから参加させていただいており、幹事の中でも上級になってきてしまいました。

血管外科がメインで診療をしており、心臓外科のみならず血管外科の分野の発展にも微力ながらお手伝いが出来ればと思っています。

U-40 近畿支部幹事の植野と申します。現在は兵庫県立尼崎総合医療センターに勤務しております。U-40 の立ち上げ時から、自身の異動に伴い、中四国→近畿と支部も移りつつ、幹事を継続して務めております。

今後とも宜しくお願い致します。

大阪大学

心臓血管外科

梶田浩禎先生



国立循環器病研
究センター

中村悠治先生



大阪大学心臓血管外科の梶田浩禎と申します。

心臓血管外科医の経験に加えて、医療現場のニーズを起点とした医療機器開発についても学んできました。心臓血管外科の若手医師の中で、医療機器開発にご興味のある方は是非お声がけ下さい。一緒に日本を盛り上げましょう！

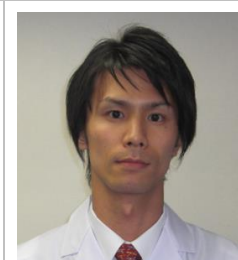
国立循環器病研究センターの中村悠治と申します。若手医師の交流を深めて切磋琢磨できる環境を作れるよう鋭意努力させていただきます。

自分も研鑽を積んでいる身でむしろ教えて頂く立場ではありますが、精一杯やらさせていただきますので、宜しくお願い致します。

三菱京都病院

心臓血管外科

山下剛生先生



大阪市立総合医
療センター

西矢 健太先生



はじめまして近畿支部幹事の山下剛生です。卒後 5 年目と、自分自身が修練真っ只中ですがその立場からの意見を出せればと思っております。

他の近畿支部幹事の先生方に支えられながらではありませんが、U40 の活動を通じて U40 の方々と一緒に成長していきたいと思っておりますので何卒宜しくお願い致します。

2018 年より U-40 近畿支部の幹事となりました大阪市立総合医療センターの西矢と申します。U-40 の講習会は異なる施設の若手心臓血管外科医が集まり、各施設のいろいろな手技や術式を共有することができ、非常に楽しく有意義な機会になります。今後もそのような場を提供する手助けができればと思いますので、どうかよろしくお願い致します。

中四国支部

中四国9県にまたがる広いエリアで活動しています。

温暖な気候同様、温かい循環を体の隅々まで提供できる若手心臓血管外科医を、エリア全体で育ててまいります。

2016 年以降、BLC 参加者数は全国最多を継続中。

U-40 の皆様へ

中国・四国支部長
徳島大学大学院医歯薬学研究部
心臓血管外科学
北川哲也先生



代表幹事

岡山大学病院

衛藤弘城 先生



皆さん、こんにちは。中国・四国支部長の北川です。本年 4 月から U-40 中国・四国支部代表／副代表幹事が衛藤弘城／中山泰介に変わり、来たる 12 月の 4th BLC は徳島市で開催されます。徳島は四国三郎吉野川の下流に発達した水都で、美味しい酒と魚も魅力です。この機会に親睦を深め、新たな出会いを大切にしましょう。「人は、いついかなるチャンスに巡り合うかも知れない。志あるもの、日頃から精進をつみかさね、もって将来に備えてもらい度い。」
practice あるのみ。

U-40 前運営委員長として、U-40 前渡邊代表を始め幹事の皆様に支えられ、この 2 年間で何とか無事やってこれたこと、全国各地の多くの有能な U-40 心臓血管外科医に出会えたことに感謝します。U-40 を卒業する頃には一人一人が自立した心臓血管外科医として活躍されることを祈念して、前もって U-40 の多様な将来と可能性に乾杯！また、一緒に仕事しましょう。

(編集部より: 原稿は 2018 年 12 月に頂戴いたしました)

当支部は 9 県にまたがる広いエリアで活動しています。全国でも名の知れた施設を含む一方で、地方医療の現実が垣間見える地域もあり、非常に多様性に富みます。

年間を通じて温暖な地域であり、当支部に在籍する若手心臓血管外科医もまた少々のことでは冷え込まない温かいハート(心臓)を持った先生方が多いことに、この活動を通じて気付かされました。

実際、2016 年以降は全国最多の BLC 参加者数を維持し続ける熱いエリアでもあり、それを意気を感じて下さる多くの指導医にも恵まれています。

心臓血管外科学が好きで好きでたまらない全ての先生方の笑顔が最大のご褒美であり、私達も笑顔を絶やさず全力でサポートし続けてまいります。



副代表幹事

愛媛県立中央病院
中山泰介先生



みなさん、こんにちは。中国四国支部副代表の中山泰介と申します。ご存知の通り、愛媛県を含む四国地方はいわゆる地方都市であり、患者層の高齢化とともに若手外科医の流出に喘いでおります。自身が研修医時代に比べると心臓血管外科医の数も減少しており、日本の将来の縮図を肌で感じる毎日です。その一方で、少ないながらも頑張っ、都市部に負けない治療実績を上げてやろうと意気込む若手心臓外科医もいます。都市部で受けられる手術と同等、否、それ以上の効果、治療期間で到達できることを目標にして頑張っています。

本支部から一人でも多くの有能な心臓血管外科医を排出し、将来、地方医療を理由に心臓血管外科治療が受けられないような現実が来ないように尽力して参りたいと思います。よろしくお願いします。



JA 吉野川医療セ
ンター

荒瀬 裕己先生



徳島県幹事の荒瀬裕己です。徳島県には江戸時代より約 400 年続く伝統芸能の一つ、阿波おどりがあります。その阿波おどりの歌いだしは「同じ阿呆なら踊らにや損々」と続きます。

幹事として微力ではありますが、若手心臓外科医が踊れる(楽しめる)ように努力して参ります。

鳥取大学

岸本祐一郎先生



鳥取県幹事の岸本祐一郎です。鳥取県は人口が少なく都市部と比べると手術数は少ないかもしれませんが、大学のある米子市を中心に盛んに臨床や研究活動を行っています。また、鳥取は若手心臓外科医が着実に増加している地域であります。山陰地域の医療を支えるため、また都市部に引けをとらないような臨床成績/研究成績をあげるため、次世代の育成が必要不可欠です。U-40 中国四国支部幹事として微力ながら日々努力し、育成の一助となれば幸いです。

山口大学

藏澄宏之先生



山口県幹事の藏澄宏之です。山口県には心臓外科が 7 施設あり、県内全体で年間 800 例弱の開心術が行われています。地方のため都市部に比べ症例は少ないですが、明治維新ゆかりの山口には、維新の志士の如く高き志をもった心臓外科医があふれています。「諸君、狂いたまえ」とは松陰先生のお言葉ですが、ここでの「狂う」は「何ものにも屈しない信念をもつ」という意味であり、狂った U40 会員が山口県の心臓外科を支えています。

広島大学

児玉裕司先生



広島県幹事の児玉裕司です。広島県は中四国の中では比較的人口は多いですが、心臓血管外科医の人数はまだ十分とは言えず心臓血管外科に興味を持ってくれる若手医師の勧誘・育成を熱心に行っているというのが現状です。U-40 での企画はそういった若手医師に心臓血管外科に興味を持って頂くには非常に良いものなので、中国四国支部幹事として微力ではありますが会を盛り上げる様努め、今後の心臓血管外科の発展につながる様頑張ります！

香川大学医学部
付属病院

心臓血管外科

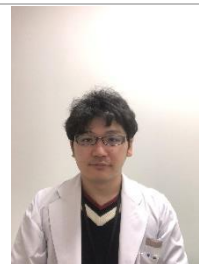
中川さや子先生



こんにちは、香川大学医学部付属病院心臓血管外科の中川さや子と申します。香川県といえぼうどんが有名ですが、うどんとの因果関係はともかく糖尿病の受療率・死亡率の高いことでも知られています。また、高齢の患者さんに対する手術適応が年々拡大しているように思います。必要な方に必要な治療を提供できるよう、若手医師の結束を高め、学生や研修医の頃から興味を持ってもらえるよう、尽力してまいりたいと思います。

島根大学

和田浩巳先生



島根県幹事の和田浩巳です。島根県は心臓外科が 4 施設で、都市部と比べ症例は少ないですが、日本でも有数の高齢化県としてこれからの日本の縮図を見ているように思います。

高齢者医療の中心として日本の医療を支えるべく奮闘してまいりたいと思います。

九州沖縄支部

当支部の特色は何と言っても、Basic Lecture Course の講師陣では無いでしょうか。各大学の教授陣が名を連ね、提供する時間は何にも代えがたい貴重な時間で、受講者からも好評です。講師のご負担を考え、福岡での開催が多いですが、予算に余裕があれば、その他の都市での開催も企画したいと思っております。他支部からのご参加も大歓迎です。

U-40 に寄せて
U-40 九州 担当理事
国立病院機構九州医療センター
院長
森田茂樹先生



代表幹事

佐賀大学
胸部・心臓血管外科
野上英次郎



U-40 は日本の外科の宝です。

心臓血管外科医は、日々患者さんの生死に直接的にかかわっています。冠動脈吻合の一針が、その人の一生を左右するかもしれず、癒着剥離のための電気メスの数ミリの動きが大出血を来すこともあります。完璧な手術の術後にほんの少し息抜きしにベッドサイドを離れた間に、致死的な不整脈で患者さんを失うこともあります。同業の者でなければ分からない仕事の厳しさを我々は共有しています。だからこそ、この領域に飛び込んでくれた後輩の諸君は、私たちの宝であり、日本の外科の宝であり、日本人の宝である、と私は思っています。

40 歳という年齢を一つの区切りにしてほしい、と思います。40 歳までに自分の進むべき方向を決め 40 歳を過ぎたときには independent に手術できる心臓血管外科医になることを目標にしてほしいです。そのために仲間と切磋琢磨して自分の腕を磨き、患者さんを診る目を鍛え、手術場での判断力を養ってください。制度やシステムを変えるために同業の先輩の助けが必要なときは遠慮なく、何をしてほしいかを発信してほしいです。U-40 の組織や仲間は様々なサポートを提供してくれるでしょう。日本心臓血管外科学会は、若い諸君の未来が輝けるようベストを尽くすことをミッションの一つに掲げています。U-40 の諸君の背中を押して少しでも多くの立派な心臓血管外科医を育成したいと思っています。そのことが心臓血管外科医を目指す医学生、研修医の諸君を増やすことに繋がってほしいと願っています。

渡邊隼先生、西村征憲先生に次いで、後任を務めさせていただいております野上英次郎です。

専門は成人心臓、大血管、TAVI、血管内治療と幅を広げすぎて、専門と言えなくなってきており、迷走しております。

医局は佐賀に属しておりますが、U-40 を通じ、全国の先生方とつながりを感じられるようになり、非常に貴重な経験、刺激を受けております。

寒いのは苦手で、なかなか九州から出る勇気がありませんが、趣味はおいしいお魚とお酒を飲むことです(種類は問いません)ので、給料に不満はありますが、生活に不満はありません。

当支部は、中央の先生方と距離的、精神的にも距離(ハンディキャップ)を感じておりますが、幹事一同、負けずにくらいついていこうと思っております。U-40 でもさまざまなプロジェクトを今後も展開していくと思いますが、是非当支部からも幹事を輩出したいと思っております。

U-40 運営におきましては、いつも各大学の先生方、施設長の先生方より手厚いご協力をいただいております。今後も実りのあるイベントを企画してまいりたいと思っておりますので、今後ともご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



副代表幹事
九州大学病院心臓
血管外科
原田雄章 先生



U-40 九州沖縄支部の副代表幹事を務めさせていただいております原田雄章と申します。代表幹事の野上先生、支部幹事の先生と共に九州沖縄の U-40 を盛り上げるべく活動に取り組んでいます。

九州沖縄支部の特徴は年に一回開催している Basic Lecture Course への若手の先生の参加が非常に多く、各施設のトップナイフの多くの先生方も快く指導を引き受けてくださり毎年盛り上がりを見せています。また若手の先生の横の繋がりも会を重ねる毎に強くなっていると感じています。さらに U-40 という場は若手だからこそ出来る発言を増やし、それぞれの思いを行動に変える事が出来るチャンスだと考えています。我々若手心臓外科医が中心となって九州沖縄から全国に向かって盛り上げていけるようにこれからも皆で力を合わせて頑張りたいと思います。

済生会熊本病院心
臓血管外科

古賀智典先生



聖マリア病院

心臓血管外科

和田 久美子先生



九州・沖縄支部の幹事を務めさせていただいております、済生会熊本病院心臓血管外科の古賀智典と申します。
皆さんと共に学び、共に何かを発信し、会を盛り上げていけたら良いと考えております。
微力ではございますが、どうぞ宜しくお願いします。



昨年度より幹事をさせて頂いております、和田と申します。

若手外科医ならではの視点を大事にしながら、九州沖縄支部のBLCが盛り上がっていくよう努めていきたいと思っています。外科系女医としても、同じ環境でがんばっている先生方とも交流を深める良い機会になっていますので、手技的なことともトレーニングしつつ、今後我々が働きやすい環境づくり等含め、検討していけたらと思っています。

福岡大学

心臓血管外科

寺谷裕充先生



県立宮崎病院

川越勝也先生



九州沖縄支部幹事、福岡大学心臓血管外科の寺谷裕充です。これまでBLCに2回参加させて頂きました。他施設の先生方との関係を築けることができたこともあり、U-40が非常に有意義な場であると考えております。今後もU-40が活発な場となるよう、少しでも力になればと思っています。よろしくお願いします。

U-40九州沖縄支部の幹事を務めさせていただいております川越勝也と申します。U-40の他の幹事の方々とともに、U-40の活動を盛り上げるべく取り組んでいます。自分自身もまだまだ指導を仰ぐ立場ではありますので、たくさんの人とふれあう中で日々精進していければと考えております。微力ではありますが、円滑にU-40の活動が進むよう頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いします。



九州沖縄支部 つづき 2

琉球大学

比嘉章太郎先生



皆様こんにちは。U-40 九州沖縄支部幹事を務めさせていただきます比嘉章太郎と申します。生まれも育ちも沖縄です。陸続きではないという地の不利がありますが、U-40 の集まりで近い世代の先生方と親交を深める機会があることをうれしく思います。U-40 や学会活動に少しでも貢献できればと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

鹿児島大学病院

心臓血管外科

永富脩二先生



こんにちは。U-40 九州沖縄支部の幹事に昨年から加えていただきました永富脩二です。

自分自身が未熟で多くを学ばなければいけない立場です。BLCを通して多くの先生方と切磋琢磨できる機会を作れるように頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。

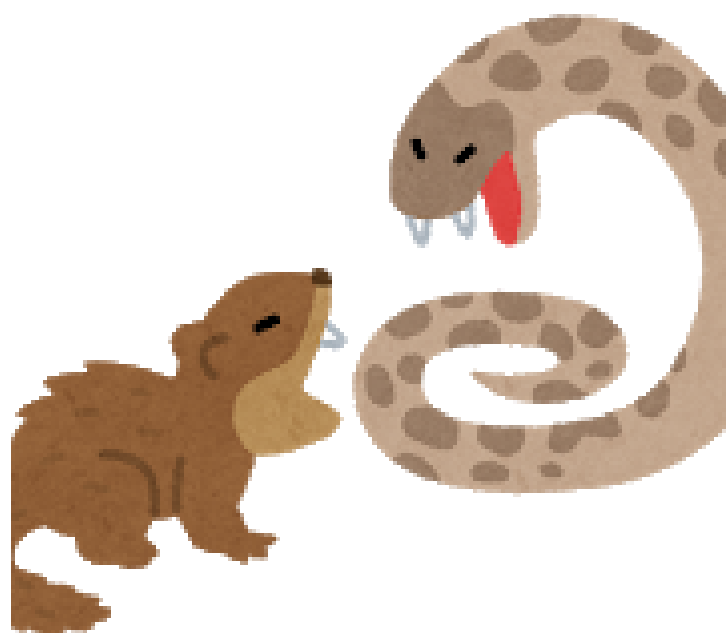
大分岡病院

心臓血管外科

阿部貴文先生



はじめまして。2018 年に行われた U-40 九州沖縄支部 Basic Lecture Course に参加したことをきっかけに、今年度より幹事をさせて頂くこととなりました。多くの方を巻き込んで、U-40 を盛り上げていきたい所存です。よろしくお願いします。



U-40 広報担当兼、九州沖縄支部代表幹事の野上英次郎です。藤田医科大学の野田美香先生と一緒に広報を担当いたしております。最近、野田先生の本業が激務とのことで、少し寂しい思いをしております。

U-40 の年次報告書は、田中代表の発案で発行する事となり、2018 年の 10 月の胸部外科総会の時より原稿集めに入りました。

年次報告書と言うからには、毎年発行されることになるであろう、初版になりますので、下手なことではできないかと、襟を正す気持ちで取り掛かりました。

のわりにはこんなものか、と思われていらっしゃるかと思いますが、冊子作りには素人ですので、ご容赦ください。

各支部の広報の先生方には支部長の先生方、幹事の先生方からの原稿集めに御尽力いただき、感謝申し上げます。

また、各支部長先生、幹事の皆様はお忙しいお仕事の、中、原稿をお書きいただきありがとうございます。

少しでも U-40 の活動が周知され、皆様のやる気につながり、ひいては若手の育成につながる事と信じております。

編集後記ですので、自由に書かせていただきます。だらだらな文書ですので、興味のない方は飛ばしてください。

2019 年 1 月 23 日 winterseminar へ向かう旭川行の飛行機の中でこれを書いており、窓には素敵な雪景色が広がってまいりました。

10 月から取り掛かりましたので、本来であれば、12 月末に仕上げたいと思っておりましたが、なかなか思うように進まず、ここまで時間がかかってしまいました。

広報は前任の寺井先生からいろいろとご指導いただきつつ手さぐりで始めました。

支部代表幹事と U-40 の広報という任務を兼任する事はためらわれましたが、皆様の御尽力によりどうなんとか運営できているものと思っております。

広報のお仕事は、やればやるだけその U-40 における重要性が分かってきました。

U-40 はまだ若い団体で、学会下部組織とはいえ、まだまだ周知されていない組織です。

今後も存続していくためには、魅力的なプロジェクトを考案、成功させていくことはもちろんですが、それを皆さんにお伝え、還元し、活動の糧にしていく必要があります。

そうする事により、また触発された優秀な人材が心臓外科領域に足を踏み入れてくれ、さらにこの業界を担う人材となっていくと思っております。

忙しい臨床の中、楽しいことを考え、共有する事は非常に精神的にも有意義な時間となります。

今後も U-40 が健全かつ、魅力的な団体であり続けることを祈念いたします。6 月で 40 歳になりますので、後任を絶賛募集中です。いつでもなんでも御連絡をお待ちしております。